

【プロジェクト奨学金 最終報告書】

所属学科・学年 政策科学科 2年

氏 名 井上 優花

プロジェクト名 消費行動におけるプラスチック容器包装の簡素化に向けて
—青果物購入時における人々の意識と行動—

要旨

本研究は、青果物包装の簡素化における消費者の環境配慮意識および行動の実態を明らかにすることを目的としている。先行研究を踏まえて聴き取り調査を行った結果、2つの論点を見出した。まず、包装の簡素化における環境配慮意識と行動の乖離である。この主な要因は、単価を見誤った商品選択といった齟齬に基づく消費者の購買行動や、高齢化、単身世帯の増加、新型コロナウイルス感染症の流行といった社会的影響であった。次に、容器包装プラスチックの簡素化における消費者の購買行動と事業者の目的の整合性の問題がある。事業者側は消費者に良い状態で提供するという目的のもと青果物にもプラスチック包装を施しているのであって、消費者ニーズに適合する範囲内で包装の簡素化を進めることになる。一方で、本調査によって、消費者は包装の簡素化に対して受け身な姿勢をとっていることが示唆された。消費者による購買行動、特に商品選択時に包装が簡素化された商品が選ばれるような仕組みづくりが有効である。本研究はこうしたジレンマとも捉えうる状況下にある事業者に対して、消費者の視点を明示したという点で今後のさらなる包装の簡素化に向けた動きに貢献している。